

SASUE LIBRARY
町立
指江図書館
TEL0996-88-6500



だいたいしょうぶ3組

乙武 洋匡 著

5年3組の担任としてやってきたのは、手と足がない先生。28人の子どもたちと、体当たりで向きあう日々を描いています。

Pick Up New publication

TAKANOSU LIBRARY
町立
鷹巣図書館
TEL0996-86-1111



はやぶさの大冒険

山根 一眞 著

多くの人々に感動をあたえた「はやぶさ」の帰還。“大変な仕事も面白いと続けられる”という事が実感できます。

新刊紹介

町立図書館おすすめ

図書館においてある最新本の中からおすすめのものピックアップ。バラエティに富んだ新刊をご紹介します。

長島 文芸

Nagashima Bungei
ながしまぶんげい

明神俳句会

秋深ししみじみ覗く妻の顔
ふるさとに残る半鐘水の秋
肥立ち良き嬰の寝息や草紅葉
星流れ一瞬止まる万歩計
流れ星悲しみは人去りてより
鶏頭の海を隠せる高さかな
不知火の海へ糸引く流れ星
秋の水虫の降りたる水輪かな

筑前 初一
淵脇 譲
迫口 君代
大堂 早苗
山寄加代子
二階堂妙子
中橋 藤七
関 佳代美

長島短歌会

死に近き母に我が名を幾たびも言へばうつすら目を開け給ふ
躰け糸の最後の一本引き抜きてモチーフつなげり
秋の夜長に
夫の死後煙草販売十二年廃止を届け空しき募る
ひと仕事終へて厨を出で見れば夕月冴へて秋気漂ふ
石路のみの刈り残されて茎高く黄花あふるる峠の道に

米尾 和子
坂之下典子
中山タマエ
浜田美代子
浜畑 松枝

一般作品

身罷りし百三歳のお姑に花捧げ泣く介護の友は
咲き揃ふ菊の大輪冬日受け眩しきまでにめぐり明るし
夢抱く今朝あることの現実を幸せとして募参りする
遅蒔きの大根育つを待ちわびぬ師走になれば採りて食べたし
十余年亡夫と通ひしゲートボール場雑草茂り胸痛み立つ
撥まわし大太鼓打つ孫目守り八十路なれど生きつづけたし
明け方の寒き浜辺にひとり立ち星座見上げて流星を待つ
カンナ咲く阿久根路に見る荒磯に海原の波鳴りて碎くる

林 ヒロ
本田 幸子
松元 睦子
町田キクエ
吉田 映子
市尾 操
岩下 ち江
岩下 房代

短歌
朝寒さどうにもならぬ年はいらすと砂浜波の打つ波は耳鳴打つ波の音なり
亡き母の匂ひの残るカーデイガンはおりて出掛け褒められ照れる
金も無く名こそなければ空しくて生き甲斐なくも死にたくもなし
俳句
台風が逸れて嬉しや古き家

町田 末則
中仮屋辰子
鷺出 成人
宗方 正喜